

個別支援計画（令和 6 年バージョン）

利用者氏名 猪苗代 太郎 様

作成年月日 令和 6 年 10 月●●日

1. 支援方針

総合的な援助の方針	グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援 B 型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。生活上のことを相談できる力や生活上の楽しみを見つけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。		
到達目標	自分のやりたい仕事、自分に合う仕事を見つけ、3 年後には一般就労を目指す		
短期目標	① 日常生活を見直して、生活リズムを整える ② 不安に思うことは何でも相談できるようにする	長期目標	① グループホームで安定した生活を送りながら、就労訓練に取り組む ② 基本作業時間を 4 時間に設定できるようにする

2. 具体的到達目標と支援内容

具体的到達目標	本人の役割	支援内容	支援期間・頻度	担当者	優先順位
自分の強み・弱み、得手・不得手を知りたい	自分の強み・弱み、得手・不得手を分析する	就労アセスメントの結果を丁寧に説明し、一緒に分析する時間を持つ。手先の器用さと完成度の高さが評価される作業プログラムを優先的に作成。	月～金 10:00～13:00	サビ管 職業指導員	3
困ったり、不安なことがあれば相談したい	気持ちが不安定になりそうな時にスタッフへ相談する	月・金の活動後に面談時間を設ける。困ったことや心配事があった際はいつでも話せるよう対応。	面談：毎週月・金 13:00～ その他：困った時いつでも	職業指導員 生活支援員 サビ管	2
生活リズムを整えたい	通所時間を調整し、自分のペースで準備する	就労訓練を午前中のみを設定（2 時間）、昼食後に帰宅。通所準備の流れを具体的に支援。グループホームのサビ管や世話人と連携して支援を実施。	月～金 10:00～13:00	生活支援員 サビ管	1

※本人または代理人による同意署名、説明実施日は事例のため省略

個別支援計画（令和 8 年バージョン）

利用者氏名 猪苗代 太郎 様

作成年月日 令和 8 年 4 月●●日

1. 支援方針

総合的な援助の方針	グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援 B 型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみを見つけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。		
到達目標	自分のやりたい仕事、自分に合う仕事を見つけ、3 年後には一般就労を目指す		
短期目標	① 基本作業時間 4 時間を継続していきましょう。 ② 不安に思うことがあったら相談しましょう。	長期目標	様々な作業を経験して安定した活動をしていきましょう。

2. 具体的到達目標と支援内容

具体的到達目標	本人の役割	支援内容	支援期間・頻度	担当者	優先順位
今の仕事を続けたい	今の作業を引き続き継続していきましょう。	作業に対して積極的に取り組んでいるので、引き続き中心的な存在としてバックアップしていきます。	月～金 9:00～15:00	サビ管 職業指導員	1
困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようにしたい	困ったことや心配事がある時、気持ちが不安定になりそうな時は、すぐにスタッフに相談しましょう。	何か困ったことや心配事があった時にはいつでも話を聞きます。	随時	職業指導員 生活支援員 サビ管	3
様々な作業を経験したい	今の活動を引き続き行いながら、ほかのスマイルの作業も体験していきましょう。	作業の状況にあわせて、他の作業も経験できるように支援をしていきます。	月～金 9:00～15:00	サビ管 職業指導員	2

※本人または代理人による同意署名、説明実施日は事例のため省略